

協議結果

次の協議会を下記のとおり開催した。

名称	令和7年度第7回益田市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和8年3月23日（月）14：00～14：45
開催場所	益田市図書館 2階 視聴覚室
出席者	<p>○出席者</p> <p>[益田市地域公共交通活性化協議会委員]</p> <p>波田正博会長、藤原政志委員、庄司彰委員、堀本稔委員、齋藤晃信委員、高木俊輔委員代理、澤江佑三委員、岡本堂里委員、村岡宙委員、佐藤伸廣委員、岡崎朝子委員、小原静伍委員、山本宏史委員、齋藤慎哉委員、佐川賢一委員代理、丸山武委員代理、藤田敦史委員、中島克仁委員、高倉大委員代理、橋本秀治委員代理、藤本美香委員</p> <p>[事務局]</p> <p>政策企画局 長嶺局長</p> <p>交通対策課 宅野課長、千振課長補佐、棕主幹、三上副主任主事</p> <p>○欠席者</p> <p>[益田市地域公共交通活性化協議会委員]</p> <p>渡辺健一委員、山岡索委員、加藤博和委員、天野克之委員、三浦康広委員、松本徹委員、和崎幹弘委員</p> <p>[オブザーバー]</p> <p>加藤博和氏</p>
議事	<p>報告・協議事項</p> <p>(1) 乗合タクシー「金山・宇治・津田線」の運行時刻変更について</p> <p>(2) 乗合タクシー「千振・種線」の運行日及び運行時刻の変更について</p> <p>(3) 益田市地域公共交通計画 現計画の進捗状況について</p> <p>(4) 益田市地域公共交通計画 次期計画策定に係るスケジュールについて</p> <p>(5) 令和7年度決算見込みについて</p> <p>議題 第1号 令和8年度 事業計画（案）について</p> <p>第2号 令和8年度 収支予算（案）について</p> <p>その他</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
問合せ先	政策企画局交通対策課 電話 0856-31-1050

協議経過

1. 開会	
2. 報告・協議事項	
(1) 乗合タクシー「金山・宇治・津田線」の運行時刻変更について 資料1	
・事務局から、乗合タクシー「金山・宇治・津田線」の運行時刻変更について説明。	
【質疑応答】なし	
(2) 乗合タクシー「千振・種線」の運行日及び運行時刻の変更について 資料2	
・事務局から、乗合タクシー「千振・種線」の運行日及び運行時刻の変更について説明。	
【質疑応答】なし	
(3) 益田市地域公共交通計画 現計画の進捗状況について 資料3	
・事務局から、益田市地域公共交通計画 現計画の進捗状況について説明。	
委員	概ね計画通りに進んでいるという認識でよろしいでしょうか。
事務局	100%ではないですが概ね予定通りという認識です。路線廃止等により、予定通りになっていないところもあります。
会長	これは令和8年度まで現計画の中でということですので、令和8年度まで、例えば当初掲げた目標に対して今お話がありましたように、どの程度進捗しているかというところが非常にこれだけでは分かりにくい部分ではありますが、そのあたりについてはどうでしょうか。やはりまだ今の段階でははっきり分からないということでしょうか。
事務局	計画期間が残り1年あるので、その期間でなるべく100%に近づくよう努力してまいりたいと思います。
(4) 益田市地域公共交通計画 次期計画策定に係るスケジュールについて 資料4 資料4-1	
・事務局から、益田市地域公共交通計画 次期計画策定に係るスケジュールについて説明。	
委員	これは地域公共交通計画なので、私が今からお話しすることは公共交通と言えるのかどうかという問題は1つあるのですが。実はいろいろ手厚く利用者の方のことを考えて、市もいろいろ工夫をされてバスを運行されていますが、乗合タクシーに乗りに行くまでの足がありません。乗っても行先に到着するまで乗り換えがあり、不便です。行先はだいたい病院か買い物ですが、公共交通では対応できていません。住民の移動に関する不便さにどう対応するのでしょうか。地域のおじさんやおばさんは病院を往復しています。実証実験（二条地区の自治会輸送）を令和6年から去年の10月まで1年間やりましたが、登録した人は19人。1年間で総計69回。ドア・ツー・ドアで家へお迎えに行き、病院の玄関までお送りするというのを69回やってきて、利用者からそれなりに評価をいただきました。交通弱者を救う活動についての目線、視点をぜひこの際計画に入れていただけないのでしょうか。人口はどんどん減ってきますし、高齢化はものすごいスピードで進んでいくわけで、そう考えるとしっかり時間をかけて計画を組めたとしても、計画期

	<p>間の中に事情も全部変わってしまうというようなことは普通に起きているわけです。そこを見据えて、議論もそうですけれども、この計画期間そのものはそれほど長く持たないというふうに思っています。これは意見ですから、こうしなきゃならないということではないですが、計画を立てる期間を短くして、早く成案にして、トータルの適用期間を短くするという努力を始めないと、今まで5年の計画期間でやっていたから、今回も5年でやりますというような状況にはないと思っています。計画期間短縮についてと、また、地域でいろいろ工夫をして取り組みをしているわけですが、その工夫をどこかに文書として入れていただいて、それに対する市の対応というようなものができるならば、それも記載をしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>路線バスへの接続ということで、今、乗合タクシーを益田市として運行しているのですが、確かに中山間地・周辺部では、バス停に行くまでが困難な状況にある方もいらっしゃるという理解をしています。その辺も含めまして、現在運行している乗合タクシーは計23路線ありますが、路線が重複をしていて非効率な面もあります。そういったところも総合的に見直しをかけながら、皆さんが利用しやすい交通体系を次期計画に盛り込めていけたらと考えています。その上で自治会輸送のことも含めてどういう関わりができるのか、どういう支援ができるのかということも併せて検討していけたらと思っています。</p>
事務局	<p>事務局から確認をさせていただきたいのですが、地域公共交通計画の計画期間は5年間という認識でよろしかったでしょうか。</p>
委員	<p>標準期間として5年を目安にしていますが、必ず5年でなければならないというものではないので、地域の実情等を踏まえて計画期間を考えていただければと思います。</p>
事務局	<p>現計画も計画期間を5年として計画を立てています。おっしゃられたように短期的な課題もありますし、一方で中長期的な視点も必要になってくると思っています。計画の策定時と現在では状況もかなり変わってきています。今後は必要に応じて計画途中での改定等を行い、より計画の実効性を高めていく姿勢で取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>他の計画では中間見直しを実施しているものもありますが、そういったことも可能なのでしょうか。</p>
事務局	<p>可能です。今、申しましたのはそういう中間見直しをすることにするのか、そもそも期間を短くするののかという部分がありますが、現在進めているのは、どちらかといえば中間見直しの方向ということでございます。</p>
<p>(5) 令和7年度決算見込みについて 資料5</p>	
<p>・事務局から、令和7年度決算見込みについて説明。</p>	
<p>【質疑応答】なし</p>	

3. 議題	
第1号 令和8年度事業計画（案）について 資料6	
・事務局から、令和8年度事業計画（案）について説明。	
委員	<p>昨年の10月から石見交通の廃止代替として運行されている乗合タクシーについて、令和9年度の補助事業からフィーダーの補助金の活用を検討されているとのことですが、現計画への位置づけの追記が必要になりますので、計画の改定をお忘れのないようにしていただければと思います。よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>表の中にある「啓発活動」の内容に「公共交通に関する意見交換会の開催」とありますが、どのような方々を対象とした実施を想定されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>具体的に定めておりませんが、なるべく現在運行している乗合タクシーの沿線地域の方を対象に考えています。</p>
会長	<p>当然、住民の皆さんを対象とした意見交換会ということではよろしいですね。</p>
事務局	<p>この住民意見交換会については、益田市の乗合タクシーだけではなく、益田市全体の公共交通について広く住民からご意見をいただく場として開催したいと考えています。</p>
第2号 令和8年度 収支予算（案）について 資料7	
・事務局から、令和8年度 収支予算（案）について	
【質疑応答】なし	
4. その他	
委員	<p>今後もアンケートをされるようなので、ぜひお聞き取りいただきたいと思っております。今までのアンケートの項目の中には、「公共交通を残したほうがいいですか」「残さなくてもいいですか」というような非常に誘導的な単純な設問がありました。今回から6番目に「今後の益田市の公共交通について」という項目を立てて、「今後の益田市における公共交通サービスの維持確保等に対するあなたの考えに最も近いものはどれですか」とあります。この中の選択肢に、「公共交通のサービスを低下させてでも市の財政支出削減に努めるべき」という項目が入りました。私はこの設問自体がもっときちんと書かねばならないと思っております。補助金の多くは国の補助金ですが、益田市も補助金の一部を負担しています。益田市民1人当たり1年間にどれだけの公共交通に対する補助金を出しているかということを書いた上で、「これだけ出してもまだまだもっと公共交通を維持すべきか」「それとももっと支出してもいいから、やっぱり大事にすべきか」という、市の財政負担額を明らかにして問うべきだと思います。もやっと大事か大事でないかと尋ねられると、大事に決まっているんですよ。私もそうですけど、車乗っているからといって、もし何かあったらそれはあったほうがいいのかよなって必ず思いますから、そういう誘導的な設問をやめて、例えば1人4,000円なのか5,000円なのか、「1年間に市はこれだけ負担していますが、もっと出してでも公共交通を維持すべきか、それともこれ以上出すのをやめるべきか」というきちんとした質問を設定して、市民の皆さんにはっきりと現状を明ら</p>

	<p>かにして回答していただかないと、私はアンケートじゃないと思っています。ある種の誘導的な問いかけをしておいて、「大事ですよね」というようなやり方はもうやるべきではないというふうに思っています。次回のアンケートからはそういう現状をきちんと市民の人に伝えてから、どうでしょうかというアンケートでなければ、私は必要ないと思っていますので、ぜひその方向でご検討していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今後につきましては、アンケートの対象者が判断できる材料、具体的な数値が出せるものがあれば具体的な数値を出す等の対応を可能な限り諮っていきたいと思います。</p>
事務局	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。事務局としても今後その辺も踏まえながら、また計画策定に向けて活かしていきたいと考えております。次期交通計画の策定に関しましては、随時皆様にお諮りしながら策定していきたいと考えておりますので、その際はよろしく願いいたします。以上をもちまして、令和7年度第7回益田市地域公共交通活性化協議会を閉会します。本日は誠にありがとうございました。</p>
閉会	